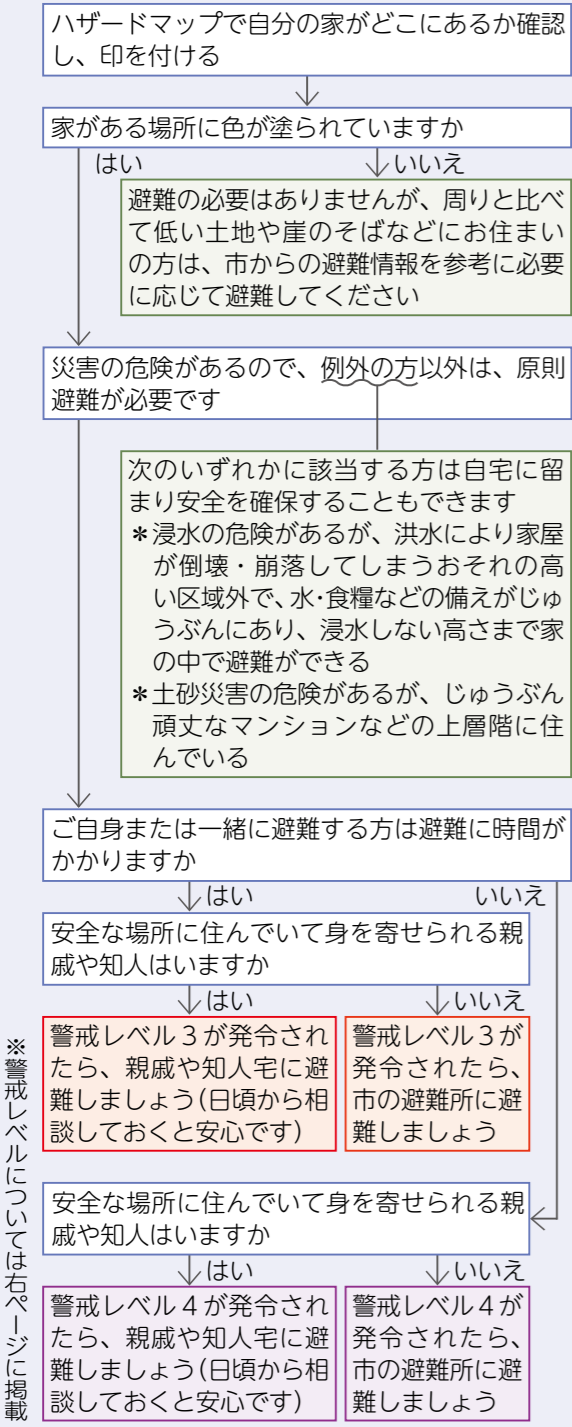


あなたがとるべき 避難行動は？



道路の側溝の清掃を

落ち葉やごみ、土砂がたまったり、植木鉢や乗り入れブロックなどを置いたりすると、雨水の排水を妨げてしまいます。物を置かない、普段から掃除を心がけるなどのご協力をお願いします。

災害情報はこちらから

- 
市ホームページ
<https://www.city.akishima.lg.jp/>
- 
市公式ツイッター
 @akishima_196
- 
携帯メール情報サービス
<http://hp.m-mate.com/k/akishima/>
 災害、行方不明者、不審者などの情報を配信。事前の登録が必要です
- 
防災行政無線
 市内全域への放送。内容がよく聞き取れなかった場合は、電話応答サービス ☎0800-800-1875 (通話料無料) で確認できます
- 
NHKデータ放送
【テレビで見たい方】
 NHK(総合)テレビを表示→リモコンのdボタンを押す→「地域の防災・生活情報」を選択する
【ワンセグなどで見たい方】
 受信機の取扱説明書を参照してください
- 
Yahoo! 防災速報
 スマートフォンのアプリで災害情報を配信。メール版もあります

新型コロナウイルス感染症が心配！ 避難すべき？ 知っておくべき5つのポイント

危険な場所にいる方は避難することが原則です。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、適切な避難行動を取りましょう。

- ① 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる方まで避難する必要はありません
- ② 市のすべての避難所が開設するとは限りません。開設情報を市ホームページなどで確認しましょう
- ③ 市の避難所だけでなく、安全な場所にある親戚・知人宅に避難することも検討してください
- ④ マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自分で携行してください
- ⑤ 豪雨時の移動は車での場合も含め危険です。浸水または崖崩れの被害に遭わないよう周囲の状況などを確認してください。また、やむをえず車中泊する場合も同様の注意が必要です

増える台風の被害

過去10年の平均を見ると、年間で約12もの台風が日本から300km以内に接近し、そのうち約4つが日本に上陸しています。昨年は房総半島台風(第15号)や東日本台風(第19号)が上陸し、関東地方にも大きな被害を及ぼしました。台風は、7月～10月にかけて最も多く発生します。お住まいの地域にどんな災害の危険性があるのかを改めて把握し、家族や地域で対策を立てておきましょう。



風水害に備えましょう

☆詳しくは、防災係へ。

昭島市洪水・土砂災害ハザードマップを全世帯に配布

近年、水害や土砂災害が頻発していることから、都が新たなシミュレーションを行い、残堀川流域浸水予想区域図や市内の土砂災害警戒区域を公表しました。これに基づき、市ではハザードマップを改定し、6月末までに全世帯に配布します。

災害の警戒レベルについて知っておこう

国は、洪水や土砂災害が発生するおそれがある場合に、住民がとるべき行動などを5段階の警戒レベルに分けて示しています(下の表のとおり)。市では、警戒レベル3で「避難準備・高齢者等避難開始」を、警戒レベル4で「避難勧告」を発令します。なお、警戒レベル4で、緊急的に、または、重ねて避難を促す場合などは、「避難指示(緊急)」を発令します。これらの情報は、防災行政無線や市ホームページなどでお知らせします。左ページの「あなたがとるべき避難行動は？」をご覧ください。適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	発令・発表される情報	住民の皆さんにとっていただきたい行動
5	市長が災害発生情報を発令	命を守るための最善の行動を
4	市長が避難勧告や避難指示(緊急)を発令	速やかに避難所などの安全な場所へ避難を
3	市長が避難準備・高齢者等避難開始を発令	高齢者など避難に時間を要する方とその支援者は避難を。その他の住民は避難の準備を
2	気象庁が洪水注意報や大雨注意報を発表	ハザードマップなどを確認して、避難の準備を
1	気象庁が早期注意情報(警報級の可能性)を発表	災害への心構えを高め、気象庁や市からの情報に注意を

お住まいの地域の危険箇所や、いざというときに避難できる場所親戚や知り合いの家、市の避難所などを確認しておきましょう。市ホームページでもご覧いただけますが、災害時はアクセスが集中するため、事前のダウンロードをお願いします。